

平成 30 年 5 月 29 日

報 道 各 位

敦賀市企画政策部ふるさと創生課

敦賀市産業間連携推進事業費補助金の採択について

敦賀市産業間連携推進事業費補助金につきまして、2社3件を採択いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 採択結果

(1) 東芝エネルギーシステムズ㈱

① 再生可能エネルギー由来水素ステーション

開発した再生可能エネルギー由来水素ステーションは、敦賀市内に設置され、平成31年度より実証事業が行われます。

(2) 東洋紡㈱

① バイオマス由来高機能性界面活性剤

バイオマス由来高機能性界面活性剤の用途拡大と大幅なコストダウン
平成32年度技術開発完了予定

② バイオマス由来高機能性ポリアミド

高機能性ポリアミド（バイオプラスチック）の開発と製品化
平成32年度技術開発完了予定

敦賀市企画政策部ふるさと創生課

担当：前田

TEL：0770-22-8111

再生可能エネルギー由来水素ステーション

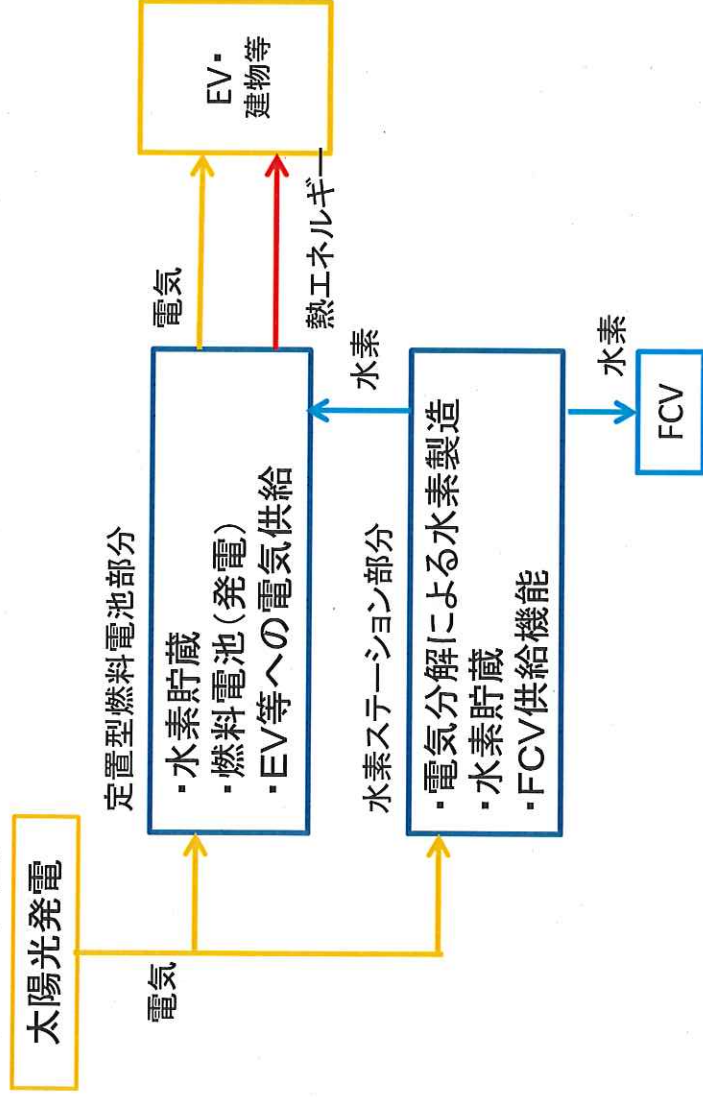
○これまでの小型再生エネルギー由来水素ステーション

- ・ 水素充填所要時間10分
- ・ 充填圧力が低く、FCVフル充填不可
- ・ 水素製造能力 0.5台/1日

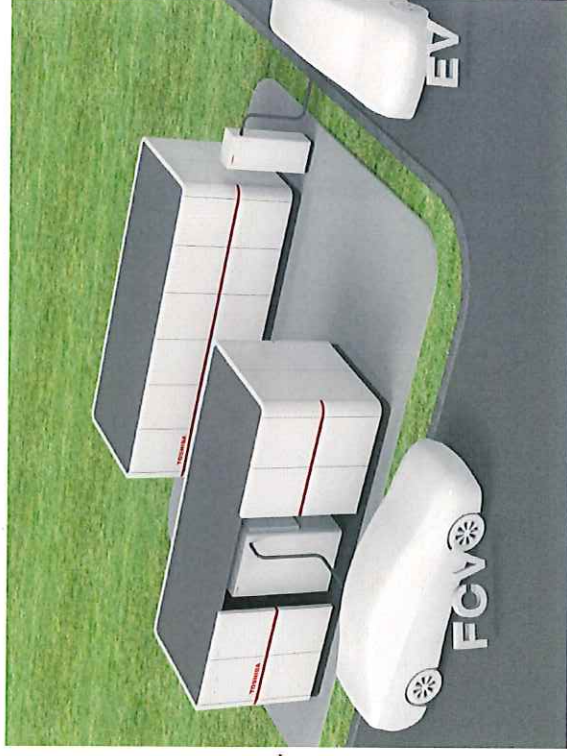
○開発する再生エネルギー由来水素ステーションの特徴

- ・ 水素充填所要時間3～5分
- ・ FCVフル充填可能な充填圧力
- ・ 定置型燃料電池へも水素供給。EVや建物への電力・熱供給によるBCP機能提供

○イメージ図



平成31年度運転開始予定



バイオマス由来界面活性剤

- ・ 界面活性剤は、水と油を均一に混ぜる働きのある物質。
- ・ ほぼ全産業において何らかの用途で使用されている。現在は石油由来。
- ・ 国内市場規模は2,000億円。

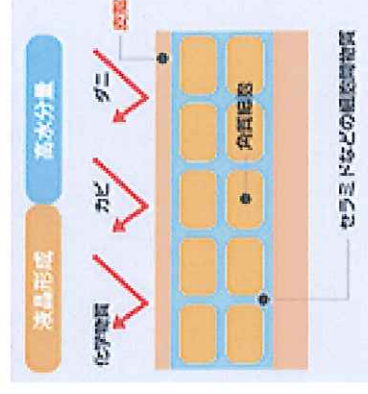
○バイオマス由来界面活性剤の特徴

- ・ オリーブオイルのようなバイオマスを原料として酵母を発酵させて生産。
- ・ 生産時の必要エネルギーは、石油由来と比較して約58%削減。
- ・ 高い環境調和性と安全性を有する。
- ・ 肌の保湿効果に優れ、抗菌効果を有する。

○技術開発のスケジュール予定

年度	内容
平成30年度	生産技術開発、安全性試験
平成31年度	生産技術開発、安全性試験
平成32年度	生産技術開発

肌バリアのイメージ



バイオマス由来高機能性ポリアミド

- ・ ポリアミドはプラスチックの一種。
- ・ 食品フィルムや合成繊維としての利用が一般的。

○バイオマス由来高機能性ポリアミドの特徴

- ・ 高い耐熱性、強度、加工性を有する。
- ・ 同じく耐熱性、強度、加工性に優れる金属と比較して軽量。
- ・ これまで、電子部品のコネクタ向けが主な用途であったが、今回の研究により自動車部材向けの用途でも販売が可能となる。
- ・ これまで金属が使われていた部材に置き換わることで、完成品の軽量化につながり、省エネルギー化がはかれる。

○技術開発のスケジュール予定

年度	内容
平成30年度	生産技術開発、安全性試験、プラント試作
平成31年度	生産技術開発、本機プラント試作
平成32年度	生産技術開発、本機プラント試作

